

# 臨床腫瘍多職種研修会アンケート

開催日時：令和4年11月17日（木）18時～19時

## ◆職種について

回答人数 39人

医師(7人)、薬剤師(6人)、看護師(21人)、MSW(4人)  
その他(看護教員 1人)

## ◆研修会の評価について

	全く良くな かった	あまり良 く な か っ た	普通	良かった	非常に良かった
研修会の日時や会場は、良かったですか。			1	16	22
	全く添っ て い な い	あまり添っ て い な か っ た	普通	添っていた	非常に添っていた
この研修会の内容は、あなたのニーズ・期待に添っていましたか。			1	16	22
	全く理解 できな かった	あまり理 解 で き な か っ た	普通	理解できた	非常に理解できた
この研修会のねらい、内容について理解できましたか。			2	13	24
	全く役に 立 た な い	あまり役 に 立 た な い	普通	役に立つ	非常に役に立つ
この研修会で学んだことは、日頃の業務の中で役に立ちますか。			3	8	28

## ◆研修会を受講されたのご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・病院の性質上、最期まで看取ることが出来ないことが多いです。「無力感」「責任感のなさ」を感じつつ、なんとか自分の役割と割り切ってやっています。その中で、先生方にバトンタッチできるのは、非常に心強く感じています。
- ・医療者としての姿勢を見直させられる素晴らしいお話をありがとうございました。
- ・最後のQAの受け答えに感銘を受けました。ありがとうございました。
- ・自分のためになった。
- ・ターミナル患者への関わり方はいつも難しいと感じていました。本日学んだ知識・技術は苦手意識があるため、実践するのは中々難しいが、努力していこうと思う。
- ・日々、患者さんと接してきて、患者さんの不安を受け入れて、少しでも心が楽になるようにするにはどうすればよかったのか悩んでいたため、すごくためになりました。今回のお話を参考にします。
- ・大変役に立つご講義ありがとうございました。ECC研修を受講したこともあります。少し復習していかないと感じています。フォローアップ研修など案内を待っています。
- ・在宅に帰られた患者さんとボタンのかけちがいを起こしてしまったこと、どうしたら良かったのか、日頃の看護のヒントをいただきました。ありがとうございました。
- ・死を間近に迫った人への接し方について学ぶことができた。
- ・その方の支えとなるものを気づいてもらえる援助がいる。そこをみつけていきたいと思った。
- ・やはり立石先生なので、安心して最後を任せさせてもらえる？です。研修のすべてに愛が満ちあふれていました。
- ・在宅緩和ケアの現場の様子を教えていただき、改めて在宅の良さ→その人らしく穏やか、死が近づくが生き生きとしている様子を感じた。日頃病院での勤務をしている身としては、定期的にこういった在宅現場を知る機会がとても大切と思った。

- 援助的コミュニケーション難しいけれど、身につけていきたい。
- 関わり方や、声のかけ方、死を目の前にした患者さんの思いなど、とても分かりやすかった。
- 患者さんの支えを強める支援の必要性が大変勉強になりました。
- とても良い講演でした。是非また他の在宅の先生のお話も聞いてみたいです。
- 非常に良かったです。参加して有意義でした。
- すぐに感情の先取りをしたり、助言をしてしまったりするタイプの人間で、この研修での学びを生かして臨床にもどりたいと思います。
- 質問が素晴らしくて、先生から色々聞き出せて良かったです。
- 日々、化学療法を受けている患者さんに関わる機会が多いため、出来る限り化学療法を継続できるように患者さんを支えていく重要性、治療をあきらめなければならない時の苦しみを理解できずとも、受け止められるように努力しようと思いました。
- 在宅への考え方は普通の業務に通じるところもあった。コミュニケーションのとり方とか。

**◆あなたが研修会を開催される立場となった場合、今回の研修会で改善をしたら良いと考えられる点がありましたら、お聞かせください。**

- メールだけでなく、各々のセクション・病棟に宣伝をしてもっと参加者を増やしたいと思いました。
- 具体的にこういう事例があったなどあれば大変うれしいです。
- Webでも見れたら、さらに参加人数が増えたと思います。
- 広い会場で、ソーシャルディスタンスもとれて、安心して研修会に参加させてもらいました。ありがとうございました。